

A085

大正二年福岡縣統計書 第一編 行政

大正二年福岡縣統計書

第一編(行政)



A0851



1206389965

二大  
年正  
福  
岡  
縣  
統  
計  
書

第壹編(行政)

二大正 福岡縣統計書

第壹編

(行政之部)

目次

● 土地

第一	地勢	一頁
第二	本縣管轄地ノ沿革	二頁
第三	本縣ノ位置	三頁
第四	國郡ノ面積及廣袤	四頁
第五	郡市區劃	五頁
第六	警察區劃	六頁
第七	裁判區劃	九頁
第八	稅務區劃	二九頁
第九	林區區劃	三三頁
第十	郵便區劃	四三頁
第十一	陸軍管區表	四四頁
第十二	海軍區劃	四九頁
第十三	土木管區	五〇頁
第十四	土地種類別 (累年比較)	五〇頁
第十五	官有地反別 (郡市別)	五二頁
第十六	民有地反別 (郡市別)	五七頁
第十七	民有々租地反別地價	六一頁

一頁 二頁 三頁 四頁 五頁 六頁 九頁 二九頁 三三頁 四三頁 四四頁 四九頁 五〇頁 五二頁 五七頁 六一頁

● 氣象

第一	民有々租地反別地價	二頁
第二	民有々租地反別地價	三頁
第三	開墾地及年期地反別	三六頁
第四	民有免租地反別	三七頁
第五	民有免租地反別	三九頁
第六	土地買賣價格	四一頁
第七	土地買賣價格	四三頁
第八	土地貸賃價格	四六頁
第九	土地貸賃價格	四七頁
第十	土地貸賃價格	四八頁
第十一	山嶽ノ景狀	四九頁
第十二	原野	五三頁
第十三	河川	五四頁
第十四	池沼湖ノ周圍及面積	五六頁
第十五	島嶼ノ周圍及面積	五七頁
第十六	福岡氣象 一 (空氣溫度)	六四頁
第十七	福岡氣象 二 (空氣壓力其他)	六五頁

二頁 三頁 三六頁 三七頁 三九頁 四一頁 四三頁 四六頁 四七頁 四八頁 四九頁 五三頁 五四頁 五六頁 五七頁 六四頁 六五頁

第三五	福岡氣象	三 (降水量其他)	六六
第三六	福岡氣象	四 (天氣)	六七
第三七	管内氣象	一 (氣溫)	七一
第三八	管内氣象	二 (風向風力)	七三
第三九	管内氣象	三 (降水量)	七四
第四〇	管内氣象	四 (天氣)	七七
第四一	管内氣象	五 (霜雪)	七九

● 戶 口

第四二	戶數及人口累年比較	八三
第四三	郡市戶數及人口	八三
第四四	郡著名町村戶數及人口	八五
第四五	本籍人口出入動態	八七
第四六	本籍人口族稱別	九〇
第四七	本籍人生產不生產年齡別 (郡市別)	九一
第四八	本籍人口有配偶無配偶者 (郡市別)	九三
第四九	本籍人婚姻及離婚年齡別	九四
第五〇	有配偶無配偶者及婚姻離婚 (郡市別)	九八
第五一	本籍人生產及死亡累年比較	九九
第五二	本籍人出產 一 (生產)	一〇〇
第五三	本籍人出產 二 (死產)	一〇二
第五四	本籍人死亡者 (郡市別)	一〇四
第五五	本籍人未婚者不具者年齡大別	一〇五
第五六	本籍人未婚者及不具者 (郡市別)	一〇六
第五七	棄 兒	一〇八

● 土 功

第七七	篤行及奇篤者	一四七
第七八	賞與者	一四八
第七九	國費救恤人員 一	一五〇
第八〇	國費救恤人員 二	一五一
第八一	棄兒養育	一五三
第八二	行旅病人	一五五
第八三	行旅死亡人	一五六
第八四	罹災人員及救助金額	一五八
第八五	龍華孤兒院	一六〇
第八六	明治訓育院	一六二
第八七	小倉孤兒院	一六三
第八八	滿之浦坑保育所	一六五
第八九	財團法人柳河授產所	一六六
第九〇	盲啞教育慈善會	一六八
第九一	私立柳河訓育院	一六九
第九二	福岡學園 (代用感化院)	一七〇
第九三	土功費累年比較	一七二
第九四	縣事業費	一七三
第九五	郡事業費 一	一七四
第九六	郡事業費 二	一七五
第九七	市事業費 一	一七六
第九八	市事業費 二	一七七
第九九	町村事業費 一	一七八

第五八	本縣在留外國人 一	一一〇
第五九	海外渡航人員 一 (郡市別)	一一二
第六〇	海外渡航人員 二 (國別)	一一五
第六一	海外在留人員 一 (郡市別)	一一七
第六二	海外在留人員 二 (國別)	一一九
第六三	海外在留人送附金	一二二

● 兵 事

第六四	陸軍兵員	一二五
第六五	海軍兵員	一二六
第六六	國民兵編入人員	一二八
第六七	徵兵人員	一二九
第六八	赤十字社員及年釀金	一三一
第六九	愛國婦人會員及年釀金	一三三

● 社 寺

第七〇	神 社	一三五
第七一	神 職	一三六
第七二	寺 院	一三八
第七三	住 職	一四〇
第七四	神道教會所及說教所	一四二
第七五	佛道教會所及說教所	一四三
第七六	神佛以外ノ宗教及宣教者會堂等	一四四

● 慈惠及救恤

● 交 通

第一〇〇	町村事業費 二	一七六
第一〇一	災害表 一 (累年比較)	一七七
第一〇二	災害表 二 (流域別)	一七八
第一〇三	風潮害	一八一
第一〇四	道 路	一八三
第一〇五	橋 梁	一八七
第一〇六	鐵道會社 一	一九一
第一〇七	鐵道會社 二	一九二
第一〇八	鐵道線路及運搬具	一九三
第一〇九	鐵道哩數乘客貨物及賃金	一九四
第一一〇	鐵道會社 一	一九九
第一一一	鐵道會社 二	二〇一
第一一二	軌道線路及運搬具	二〇三
第一一三	軌道乘客貨物及賃金	二〇四
第一一四	通常郵便線路	二〇五
第一一五	郵便及電信局所	二〇六
第一一六	通常郵便物數	二〇八
第一一七	小包郵便物數	二〇九
第一一八	電信線路	二一一
第一一九	內外國電報	二一二
第一二〇	電話交換事務局所及線路	二一四
第一二一	電話交換度數及料金	二一六
第一二二	電話交換加入者職業別	二一八

第一三三	車 輛 一	二四二
第一二四	車 輛 二	二四三
第一二五	船 一 (噸數船)	二四五
第一二六	船 二 (石數船)	二四七
第一二七	船 三 (小船種類別)	二四八
第一二八	船 四 (小船郡市別)	二四八
第一二九	港 灣	二五〇
第一三〇	燈 臺	二五一
第一三一	各港灣出入船舶	二五二
第一三二	各港灣出入貨物價格	二五三
第一三三	難破船	二五五
第一三四	難破船月別	二五六
●監 獄		
第一三五	監獄官吏	二六一
第一三六	在監人 (累年比較)	二六一
第一三七	刑事被告人ノ出入	二六三
第一三八	受刑者ノ出入	二六四
第一三九	勞役場留置者ノ出入	二六六
第一四〇	携帶分曉兒ノ出入	二六七
第一四一	受刑者ノ罪質及郡市別	二六八
●議 會		
第一四二	貴族院多額納稅者議員互選者	二七一
第一四三	衆議院議員選舉	二七二

第一六六	營業稅確定額ノ一	三〇七
第一六七	營業稅確定額ノ二	三〇八
第一六八	營業稅確定額ノ三	三〇八
第一六九	營業稅確定額ノ四	三〇九
第一七〇	營業稅確定額ノ五	三一〇
第一七一	賣業營業稅及鑛業稅 (調定額)	三一四
第一七二	酒造稅額別 (查定額)	三一五
第一七三	國稅滯納處分一 (稅目別)	三一七
第一七四	國稅滯納處分二 (郡市別)	三一七
第一七五	縣稅滯納處分一	三二二
第一七六	縣稅滯納處分二 (郡市別)	三二三
第一七七	市町村稅滯納	三二三
第一七八	國庫收入稅外金 (現計調)	三二五
第一七九	國庫費 (現計調)	三二七
第一八〇	縣歲入 (決算)	三二八
第一八一	縣歲出 (決算)	三三二
第一八二	縣歲出 (決算)	三三七
第一八三	縣特別會計歲入出 (決算)	三四五
第一八四	郡歲入一 (決算)	三五二
第一八五	郡歲入二	三五五
第一八六	郡歲出一 (決算)	三五七
第一八七	郡歲出二	三五七
第一八八	市町村歲入 (決算)	三六三
第一八九	市町村歲出 (決算)	三六九
第一九〇	市町村歲出 (決算)	三七一

第一四四	衆議院議員選舉有權者	二七三
第一四五	縣會議員選舉	二七四
第一四六	縣會議員及有權者	二七六
第一四七	郡會議員選舉	二七七
第一四八	市町村會議員及有權者	二七八
第一四九	縣 會	二八〇
第一五〇	市 會	二八〇
第一五一	郡 會	二八一
第一五二	町村會	二八二

第一九一	市町村歲出歩合	三七五
第一九二	縣有財產一	三七七
第一九三	縣有財產二	三七七
第一九四	郡有財產	三七八
第一九五	郡積立金	三八〇
第一九六	市町村基本財産ノ一	三八一
第一九七	市町村基本財産ノ二	三八三
第一九八	市町村有財產	三八四
第一九九	市町村區有部落有財產	三八六
第二〇〇	郡罹災救助資金	三八八
第二〇一	市町村罹災救助資金	三八八
第二〇二	郡 債	三八九
第二〇三	市町村債	三九〇

第一五三	諸稅收入及負擔 (累年比較)	二八五
第一五四	諸稅收入及負擔 (郡市別)	二八五
第一五五	生産物價額	二八七
第一五六	生産額ニ對スル公課歩合	二八八
第一五七	國稅額別一 (收入)	二九〇
第一五八	國稅額別二	二九一
第一五九	縣稅額別 (實收額)	二九四
第一六〇	市町村稅額別 (決算)	二九五
第一六一	地租額別一 (查定額)	二九八
第一六二	地租額別二 (查定額)	二九九
第一六三	所得稅決定額ノ一	三〇一
第一六四	所得稅決定額ノ二	三〇三
第一六五	所得稅決定額ノ三	三〇五

第二〇四	福岡縣官吏及備員俸給	三九五
第二〇五	縣官吏ノ部署係別	三九八
第二〇六	縣官吏人員及俸給	四〇一
第二〇七	郡官吏及俸給	四〇二
第二〇八	郡町村吏員區別及俸給	四〇三
第二〇九	郡町村名譽職吏員	四〇四
第二一〇	市吏員及俸給	四〇六
第二一一	町村吏員及俸給	四〇七
第二一二	文書收受發遣	四〇八

# 福岡縣統計書

## 凡例

一、本書ハ大正二年又ハ大正二年度ノ事實ヲ掲載スルヲ以テ主トス而シテ事物變遷ノ狀態ヲ明ニセン爲メ十ケ年乃至五ケ年ノ累年計數ヲ擧ケ或ハ一表トシ或ハ表末ニ列記シ以テ比較ニ便ス而シテ其ノ調査方法ノ變更ニ依リ五ケ年ノ事實ヲ列記スル能ハタルモノハ三ケ年乃至四ケ年ニ止ムルモノアリ或ハ別ニ之ヲ表末ニ列記スルモノアリ一、本縣統計書ハ三十七年ヨリ左ノ四編ニ分テ編纂スルコト、ナレリ依リテ各編統計書中ノ部門ヲ願フコト左ノ如シ而シテ本篇ハ第壹編トス

### 第壹編 (行政之部)

土地、氣象、戶口、兵事、社寺、慈惠及救恤、土功、交通、監獄、議會、財政、官公吏及文書ノ十二部門トス

### 第貳編 (學事之部)

學齡兒童、小學校、學校醫、師範學校、中學校、高等女學校、幼稚園及圖書館、私立學校、經濟、新聞、雜誌雜門ノ十二部門トス

### 第參編 (勸業之部)

農業、蠶糸業、林業、牧畜、水産、商業、工業、鑛業、金融、雜事ノ十部門トス

### 第肆編 (警察之部)

警察、衛生ノ二部門トス

一、統計ノ事實ナキ郡市町村ハ表中ニ省略ス  
 一、統計期限ハ曆年又ハ會計年度其他特ニ期限ノ定メアルモノハ其ノ期間ニ依ル例之曆年ニ依ルモノ〔大正二年十二月三十一日〕會計年度ニ依ルモノ〔大正二年三月三十一日〕其他特ニ期間ノ定メアルモノ〔大正三年十月一日〕ト記載スルカ如シ  
 一、數位ハ概ネ石圓斤貫町里等ノ一位ニ止メ以下端數ハ四捨五入ノ法ヲ用フ而シテ一位以下少數ヲ知ル必要アルモノハ一位ニ「〇」ヲ付シ以下合錢厘分厘步等ニ止ム其他千位百萬位ニ「、」ヲ付シ調査未了ノモノハ「？」事實ナキモノハ「—」ヲ付シ又ハ計數ノ一位ニ滿タサルモノヲ示スニ「〇」ヲ記セリ

土地

全管面積	二八九・二七	官民有地	三七〇・七二〇・一六〇七	地價	六五、八三九・二九七
一方里ニ對スル人口	六、六〇二	官有地	六七〇・一九・四二二〇		
内		民有各租地	二九六、七九三・九五一七		六五、八三九・一九七
筑前國	一四五・九四	田	一一五、〇七四・九八		四三、二九八・六七六
筑後國	八〇・一二	畑	五〇、四四〇・五八		四、三四四・二九八
豐前國	六三・二二	宅地	一一、九八六・〇七		一七、二八五・六五九
郡	一九	山林	六八、四六六・九六		八〇四・四一五
市	四	原野	四九、九三三・五五		一三一・一二九
町	四七	鹽田	一四五・八六		七・七五三
村	一九五	其他	七四五・九五一七		六七・二六七
		民有免租年期地	三、一五五・三〇		
		民有免租地	六、九〇六・七八		